

発行 大阪市学校園教職員組合

大阪市中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)  
編集・発行人 中路 蓉太郎

TEL 6910-8700 <http://osaka-shikyo.sub.jp/>  
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyoy@sea.plala.or.jp

政府は昨年末に「義務教育標準法を改正し、来年度から小学校1年生の上限を40人から35人に引き下げる」とを決定しました。これが実現すれば、1980年に小中学校の全学年で45人から40人にして以来、実に30年ぶりの改正となり



ます。私たちの運動の積み重ねが、政治を動かしました。

昨年4月からは、「勤務時間管理」が大きな問題となりました。私たち市教委に要求書を突きつけ、問い合わせをしてきました。これを契機に、職場で長時間過密労働の見直し

の機運が高まりました。また、「中学校の事務職員を1名にするな」の鬭いも全市に大きな共感が広がっています。私たちの鬭いを見て、組合加入も増えていきます。また橋下知事によるボーナス4億カットに加え、0・2カ月削減強行、しかも

3年限りとしていた賃金カットを「もう3年間延長・提案は職場で大きな怒りの渦となっています。闘いが大きくなりつつあります。今は交渉や要求実現の点で「公務員から労働権を奪つてい基本権を奪つていています。法律の壁が存在する」法律の壁が存在しています。いま、

「復」となるよう聞いて  
ましょう。教職員組合が、教育政策を提言し、勤務時間管理も賃金も「交渉」で決めることができるような新しい時代の組合運動をすすめましょう。

あなたも新しい時代を大阪市教と共に歩みましょう。



# 30年ぶりの国による少人数学級実現 50年ぶりの労働基本権回復で 新しい時代の組合運動を

執行委員長  
中路龍太郎



手打ちうどん体験＝12日18日

「釜ゆで」と「ぶつかけ」を好きなんだだけ食べさせてくれました。みんなのうじんは太さや長さは違うもので、「美味しいね！」これは誰が切ったのかなあと」とてた人がいました。そ

たが頑張って上りました。さらに上の奥社というところがある

青年バスツアー

さぬきうどん & こんぴら散策

晴天に恵まれ、いざ讀岐へ！12月18日、幼・小・中合せて、なんと34人でバスを貸し切り、行きのバスから盛り上がりました。自己紹介の後バスレクでは、何人も考えて来てくれて、四種類もしました。目的地に着いたら早速エプロンを身につけ、生地が潰れないよう体重をのせながら

のくらい自分達で打つたうどんは美味し  
かったです。

り、全部で1-3668段もあるそうです……（次に行つたときは頑張るぞ！）みんなの願い事を届け、地元名産のお菓子の形をした「炎まん」や、うどんをお土産に携え、バスに乗り込みました。途中のサービスエリアでも、地酒を買つたりしつかり楽しみました。

## の導明なをで常準題発

## 中学校兼務発令を試行

幼稚園への「支援」の内容や事務職員削減の根拠である新学校財務会計システムの問題点を引き続き追及。学校事務職員の希望尊重の人事実現のため、たたかいで継続します。

今年度末で終了する「同校勤務が10年以上の者」についての残留を認める55歳以上の特別事情。

# 市費全廃 事務職員の暫定配置解消 1名校にアルバイト措置を検討

用者4~6年の転勤者について、昨年度の  
交渉で確認した取扱い（個別の状況に  
応じ、丁寧な人事異動上の取扱いを確  
認し、転任強要を許さないたたかいを引  
き続き強めます。）  
(12月16日付人事異動  
速報参照)

# 仲間が増えた！

大阪市教が益々求められています。西大阪のA分会では、府下から転任してきた青年に、加入の働きかけをしていました。分責の先輩から、再び声をかけられ、「全教ですね！」と加入。城北では事務職員の青年が管理職の対応に悩み、支部や分会の先輩に相談。加入を決意しました。東南では、臨時教職員として、職場を支えてきた仲間が二人も加入。雇用に不安を感じ、共通の他支部の先輩に相談し加入。同じ東南のB分会では、未組合の人も誘って、ほぼ毎月分会会議を。参加していた未組合のMさん。「入るなら、市教しかないと、人事相談にくる車中、組合員と分責のはたらきかけに加入を決意。新春の日の出のよう！

教え子を再び戦場に送るな！

